

越生浪漫 No.163

越生町文化遺産活用事業
経過報告②

本町、上町に続き、①7月7～10日に河原町山車(吉匠建築工芸)、②8～9日に仲町山車(荒木社寺)③12日に新宿町山車(荒木社寺)の3基が修理先に搬出されました【河原町山車】明治時代から曳き回していた花山車を改造し、昭和12年(1937)に東京都神田の「宮長」が製作

したものです。当初から人形を乗せる計画がなかったため山車の背が高く、解体工では高さのある収蔵庫の梁を利用して、屋根を吊り上げながら作業が行われました【仲町山車】保有していた屋台と花山車の譲渡代金を元に、昭和29年に新調されたものです。神田の「だし鉄」が設計と細部の仕上げを、本体は大宇上野の長谷竹松棟梁が施工しました。どちらの山車も、現在に至るまでに足回りの修理は行ってきましたが、今回のような大規模な解体を伴う修理は初めてです【新宿町山車】車台の部材に

年銘がある越生最古の山車です。大正13年(1924)に、金小曾(現人間市)か小本曾(現青梅市)から譲り受けたとの伝承があります。7月7日に梅園神社の獅子頭の修理状況を確認してきました(東松山市の漆工房松田)。30日には、修理する越生東二区の太鼓を移送し、東山神社獅子舞のお面の復元新調の打ち合わせを行いました(東京浅草の宮本卯之助商店)。



左: 宙に浮く河原町山車の囃子台屋根(7月8日撮影)



仲町山車解体作業(7月9日撮影)



新宿町山車解体作業(7月12日撮影)



来年こそは越生まつりを盛大に開催できますように、

今年の越生まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響や、今年度、文化庁の補助金を受けて山車の改修を行うこととなり、山車の曳きまわしができないことなどを総合的に勘案した結果、中止となりました。

各地区では、7月23日(土)と24日(日)の2日間、来年の越生まつりの開催を願って、感染防止対策の徹底など様々な工夫をして居囃子などを披露しました。



左: 漆塗り作業中の梅園神社の獅子頭(7月7日撮影) 中央: 越生東二区の太鼓 右: 東山神社獅子舞の蠅追いの面